

機関リポジトリ推進委員会 論文OAタスクフォース報告

林 豊（推進委員会協力員／九州大学附属図書館）

第18回図書館総合展、2016/11/9（水）

主査

尾城
孝一

東大

副主査

菊池
亮一

明大

副主査

高橋
菜奈子

千葉大

副主査

島
文子

京大

青山
俊弘

鈴鹿高専

今井
敬吾

岐阜大

佐々木
翼

北大

菊谷
英司

KEK

関澤
智子

新潟大

直江
千寿子

横国大

林
豊

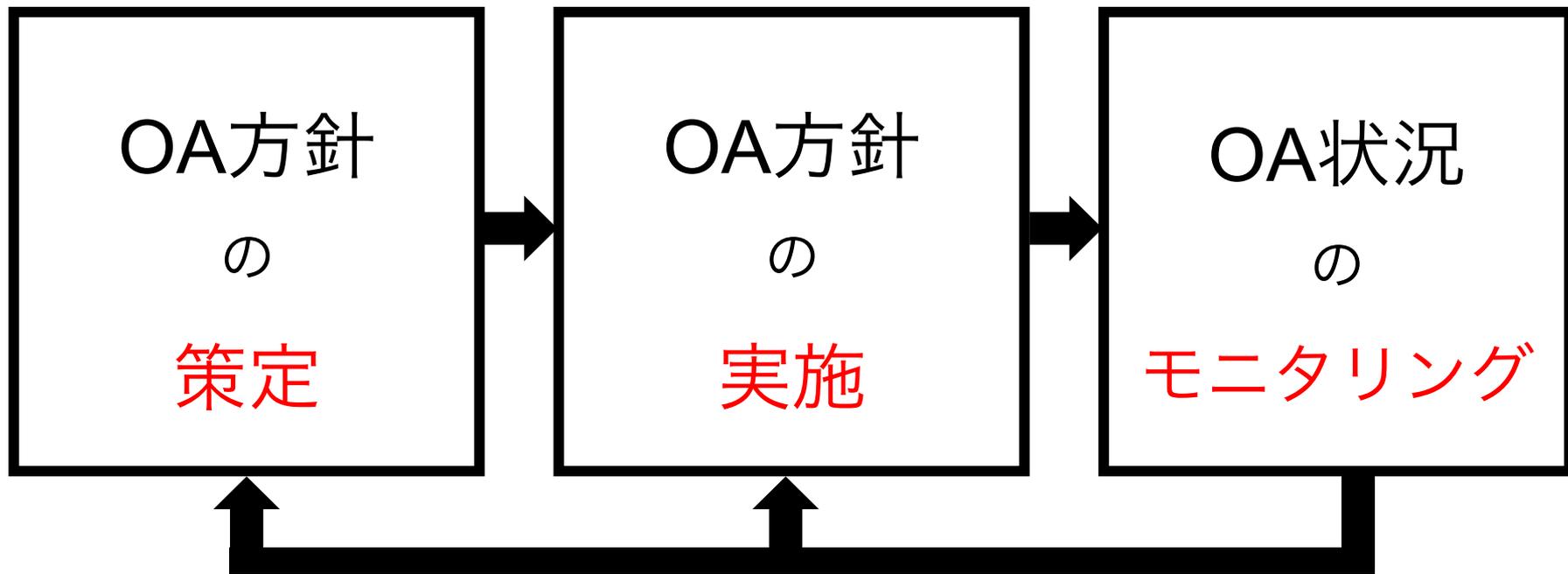
九大

上原
藤子

OIST



論文のOAの推進！



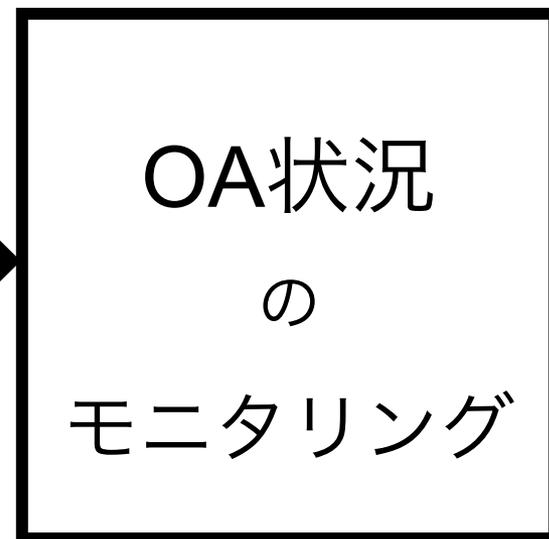
課題1
OA方針策定支援



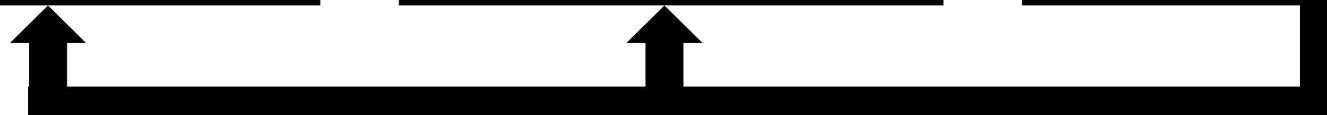
課題2
OA実施支援



課題3
OA評価・トラッキング



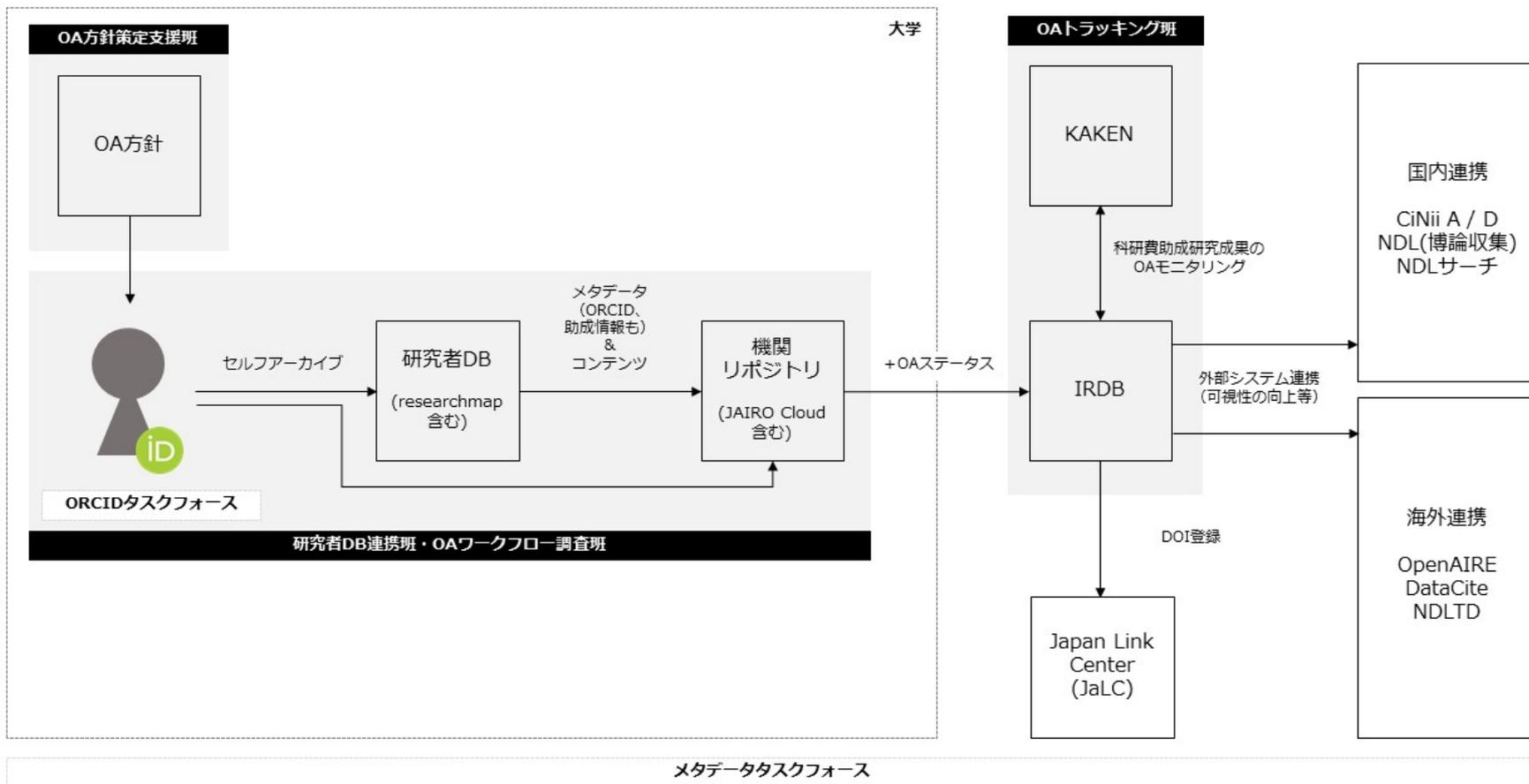
課題0
グランドデザイン策定



課題0 グランドデザイン策定

- メンバー：高橋、直江、林
- 論文OA推進の**グランドデザイン**を提示
- 成果物：グランドデザイン図

機関リポジトリのメタデータフローと機関リポジトリ推進委員会の取組



課題1 OA方針策定支援

- メンバー：関澤、佐々木、直江、菊谷
- 各大学におけるOA方針策定を支援するツールキット（ロードマップ、**策定ガイド**、方針の雛形、リンク集など）の作成
- 成果物：ツールキット

ロードマップ



フェーズ1 計画	<ul style="list-style-type: none">検討プロジェクト立上げ他機関のOA方針の研究運用体制の確認（人員&技術面）策定・実施計画の作成	1～2か月
フェーズ2 方針案作成, 策定	<ul style="list-style-type: none">方針案, 説明文書の作成図書館委員会, キーパーソンへの説明教員のコメント受付ポリシーの承認	1～3か月
フェーズ3 プロモーション, 認知向上	<ul style="list-style-type: none">複数媒体による学内周知教員向け説明会の開催プレスリリースの発行ROARMAPへの登録	1～3か月
フェーズ4 実施	<ul style="list-style-type: none">方針の実施実施要領の作成, 学内周知教員向けのFAQや登録サポート	1～3か月
フェーズ5 フォローアップ	<ul style="list-style-type: none">利用統計の作成対象論文の捕捉と登録の呼びかけモニタリング, 上層部への情報提供	継続

(The OpenAIRE guide for research institutions を元に作成)

〇〇〇〇大学オープンアクセス方針

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〔 学長裁定
役員会裁定 など 〕

(趣旨)

- 1 〇〇〇〇大学は、本学において生産された研究成果を広く学内外を問わず公開することにより、学術研究のさらなる発展に寄与すること、またその成果を社会に還元することと地域および国際社会の持続的発展に貢献すること〔下線部は各大学のビジョン等に基づき記入〕を目的として、オープンアクセスに関する方針を以下のように定める。

(研究成果の公開)

- 2 本学は、本学に在籍する教員（以下「教員」という。）が、出版社、学協会、学内部局等が発行する学術雑誌等に掲載された研究成果（以下「研究成果」という。）を、機関リポジトリ名称を記入（以下「リポジトリ」という。）によって公開する。ただし、研究成果の著作権は、本学には移転しない。

(適用の例外)

- 3 著作権等の理由でリポジトリによる公開が不適切であるとの申出が教員からあった場合、本学は当該研究成果を公開しない。

(適用の不適用)

- 4 本方針施行以前に出版された研究成果や、本方針施行以前に本方針と相反する契約を締結した研究成果には、本方針は適用されない。

(リポジトリへの登録)

- 5 教員は、研究成果について、できるだけすみやかにリポジトリ登録が許諾される著者最終原稿等の適切な版を本学に提供する。リポジトリへの登録、公開等リポジトリに関する事項は、「リポジトリ運用指針を記入」に基づき取り扱う。

(その他)

- 6 本方針に定めるもののほか、オープンアクセスに関し必要な事項は、関係者間で協議して定める。

課題2 OA実施支援

- メンバー：直江、関澤、今井、上原、林
 - OA方針策定大学のワークフローを調査
 - 成果物：調査報告書
-
- メンバー：林、今井、青山、上原
 - 研究者DB連携機能の開発（researchmapに論文メタデータが登録されたら通知）
 - 成果物：連携機能

課題3 OA評価・トラッキング

- メンバー：林、片岡、今井
- OAモニタリングシステムを開発し、特定の集合（KAKEN等）におけるOA率を算出
- 成果物：OA率、モニタリングシステム

今後の予定

- ~年度末 各課題の成果物が完成 ⇒公表
- 2017/5 NIIオープンフォーラムで成果発表

論文OAでお困りのことはありませんか？
ご意見・ご要望、お待ちしております！

 irtf_oa@nii.ac.jp